

ぶつ が じゅうさんぶつ
100. 仏画十三仏

■ 指定日

昭和57年10月9日

■ 種別

有形文化財 絵画

■ 年代

室町時代

■ 所在地

朝来市上岩津

■ 所有者

鷺原寺



■ 内容

絹本著色の十三仏掛軸。

図柄は古風で、大日如来を最上段に描いた、真言宗形式のめずらしい画像である。要所に金泥が施されている。十三仏は死者を追善供養するときの本尊で、初七日から三十三回忌まで、十三回の仏事にそれぞれ当てはめられる仏、菩薩である。

不動明王(初七日) 釈迦如来(二七日)
文殊菩薩(三七日) 普賢菩薩(四七日)
地藏菩薩(五七日) 弥勒菩薩(六七日)
薬師如来(七七日) 観世音菩薩(百ケ日)
勢至菩薩(一周忌) 阿弥陀如来(三回忌)
阿閼如来(七回忌) 大日如来(十三回忌)
虚空蔵菩薩(三十三回忌)である。